

## 「救急隊により初期対応された病院前出生児についての多施設共同研究」

筑波大学附属病院小児内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

自宅や車の中など分娩施設外で医療者の介助なしに赤ちゃんが生まれてしまった場合、119番通報で出動要請を受けた救急隊がお母さんと赤ちゃんの初期対応を行いながら病院まで搬送することがほとんどです。しかし、救急隊がどのような状況下でお産の立ち会いや赤ちゃんの処置をしているか、また出生した赤ちゃんはどのくらい元気に退院しているかといった実態については、わからないことが多くあります。また、このような事態に備えるため、救急隊員向けの蘇生法講習会が開催されていますが、その受講効果についてはまだ検証されていません。この研究は、救急隊の初期対応を受けて病院に搬送された病院前出生児の調査・分析を行い病院前周産期救急の課題を見つけること、また蘇生法講習会の受講効果を検証することを目的に行います。

### ② 研究対象者

医師や助産師の介助なしに分娩施設外で出生し、救急隊による初期対応を受け、共同研究機関に搬送された新生児。

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月31日まで

### ④ 試料・情報の利用及び提供を開始する日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する日は以下の通りです。

利用開始日：2021年5月12日

提供開始日：該当なし

### ⑤ 研究の方法

救急隊員と搬送受け入れ施設に調査票を配布し、お母さんの背景や出産時の状況、赤ちゃんへの処置および合併症、転帰、救急隊員の経験年数、講習会受講歴等を前方視的に調査します。

### ⑥ 試料・情報の項目

検査データ、診療記録

### ⑦ 試料・情報の第三者への提供について

該当なし。

### ⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 研究責任者：宮園弥生（小児科准教授）

⑨ 研究機関名および研究責任者名

研究代表機関：筑波大学附属病院	小児科	宮園 弥生
共同研究機関：茨城県立こども病院	院長	新井 順一
土浦協同病院	新生児科	四手井 綱則
水戸済生会総合病院	産婦人科	藤木 豊
茨城西南医療センター病院	小児科	石川 伸行
日立総合病院	小児科	小宅 泰郎
JA とりで総合医療センター	小児科	寺内 真理子

研究協力機関：茨城県消防本部

⑩ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑪ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：小児科 花木麻衣 / 宮園弥生

電話：029-853-5635 FAX：029-853-3492（対応可能時間 平日9～17時）